

災害環境研究プログラム 災害環境マネジメント研究プログラム

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○将来の災害に備えた環境マネジメントシステム構築に向けて、廃棄物処理や環境・健康リスク管理に関する実証的研究で着実な成果を上げている。 ○発災時の有害物質排出抑制と減災のための方策の選択に向けた取り組みへ展開するとよい。 ○人材育成へのアプローチは人材ネットワーク形成にも繋がっており、高く評価できる。 |
|---|

今後への期待など

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○優先評価物質リスト研究は、十分な準備が必須と思われるが、よい研究フレームでの発展を期待したい。 ○災害時のリスク管理研究から安全な社会作りに貢献することを期待する。緊急時の体制を整備するなど国環研ならではの研究テーマの引き続きの推進が望まれる。 |
|--|

主要意見に対する国環研の考え方

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①頻発する局所災害への対処は、地域での対応力向上が重要であり、各地での地方環境研究機関や大学等との共同研究も含めた連携・ネットワーク化も強化していく所存です。 ②人材育成は現段階では自治体職員を対象としていますが、将来的には市民レベルへの展開も考えています。また、災害マネジメント研究を学として一般化・体系化して、大学の若手人材育成の方向性も模索したいと考えています。 ③発災時の有害物質排出抑制と減災は今後の最重要課題であると認識しています。ご期待に応えられるよう、新規採択された環境研究総合推進費戦略的研究開発課題(S-17)と本研究プログラムを相補的に進めていきたいと思ひます。 |
|--|